

[1] 過重労働が及ぼす心身や家族への影響

・夫について

- ① 小中高大と野球をし、高校野球の監督をやりたくて教員に→望んで野球部顧問をしている
- ② 担任と部活動顧問 平日帰宅が20時～22時
- ③ 通常業務と突発的生徒指導、クラスと部活それぞれの生徒トラブル対応、保護者対応
- ④ 児童相談所、警察、地域との連携業務
- ⑤ 雪かき→校長は業務命令できないため負担の平等化ができない
- ⑥ 休日早朝から17時頃まで部活、遠征試合の時は帰宅が22時頃になることも
- ⑦ 一月の超過勤務が200時間近くに及ぶことも（平日100h、休日100h）

平日は我が子と殆ど過ごせない
休日も我が子と過ごす時間より部員と過ごす時間のほうが長い
ほとんど眠れなくなり、心療内科へ

[1] 過重労働が及ぼす心身や家族への影響

- 私について

第一子 悪阻が酷く、妊娠初期の仕事を一部延期する

第二子 悪阻が酷い、後期悪阻が上の子のイヤイヤ期と重なる

出産予定月の土日がすべて部活動と野球関係の研修で埋まっている状態に参ってしまう

産後、二人の未就学育児のワンオペは、物理的に手が足りない

- 長時間労働は部活だけが原因ではない
- なぜ部活不在がとりわけ負担に感じるのか？

土日祝、休業日に当たり前に仕事の予定を入れている

[1] 過重労働が及ぼす心身や家族への影響

- まわりからかけられた言葉

チームのためにも、監督を支えてやってくれ

野球や部活を否定することは夫の人生を否定すること

わかって結婚したんでしょ？

部活は仕事なんだから文句を言ってはいけない

大会前だから夫に負担をかけてはいけない

勝ち進み、おめでとう

甲子園出場を県民みんなが応援しています

[2] 顧問制度と家庭運営

- 長時間労働する顧問について

意に反して長時間部活に従事する顧問 → パワハラ構造

やりたくて長時間部活を設定する顧問 → 自分の意思。家族の思いは？ 家庭の課題

どちらも労務管理体制には疑問

- 家族にできることは？

夫婦で子育てを共有したいという思い、教員の働き方や部活の位置づけ を伝える

[2] 顧問制度と家庭運営

- 家庭運営で大切なこと

夫婦が平等に家事育児✕を分担すればいいのか？

家族全員が相互に納得したかたちで分担を行うことが大切

- 配偶者の部活不在に対する不満

→子育ての当事者意識が低い **家庭の課題**

→子育てを共有できないことで、家族の都合(家事育児、仕事、余暇)に支障をきたす **家庭の課題**

→家族の納得が得られないまま、勝手に休業日の予定が部活で埋まること **家庭/職場の課題**

→このような在り方をよしとする学校の体制、杜撰な労務管理、教員の意識 **職場の課題**

- “夫の部活不在”は職場の問題か？家庭の問題か？

[3] 顧問の家族から見た部活動

- 人生において何を大切にするか

家庭の課題

今しかない子育てを夫婦で共有したい/それよりも部活をやりたい

- 先生の仕事はこども(生徒・部員)のため、であるならば

家庭/職場の課題

こども(我が子)をなおざりにしないでほしい

- 労務管理体制を整えてほしい

職場の課題

文科省による業務精選に従って、現場の働き方改革を進めてほしい